報告事項第 38 号

立山町公共交通活性化協議会交通WG（第４回）の開催結果について

１　会議の概要

⑴　日　時　令和８年７月６日（月）　15 時 00 分～16 時 15 分
⑵　出席者　交通WG構成員　10 人中８人
⑶　議　事　立山町地域公共交通計画の施策の実施状況に係る評価について

２　主な意見等

・立山町地域公共交通計画の施策の実施状況について、交通事業者及び行政から報告があり、構成員間で共有を行った。
・鉄道事業者からは、観光客及び町内利用者の利用状況について報告があった。
・バス事業者からは、利用者の利用状況についての報告及びデマンドバスの利便向上に関する意見があった。
・行政からは、補助金の活用や観光２次交通の検討、ふるさと納税と連携した取り組み、イベント実施等について意見があった。

発言者	意見概要
鉄道事業者	・今年はＷｅｂ乗車券の販売数がかなり増えている。また、貸切電車の要望が多く、６月については、毎週土日どちらか１回は貸切電車を運行しており、宇奈月からの利用もかなり増えている。 ・町内の利用者は以前に比べ、中学生が減ってきているように思う。
バス事業者	・当社ではないが、今年の夏に東京発室堂行の高速バスが運行される。立山駅で降車することができ、称名滝や立山町の他の施設に少しでも訪れていただくきっかけになるよう実施されるもの。 ・バス利用者は、以前に比べ小中学生が大きく減少傾向にあり、雄山高校生も少し減っているように思う。
バス事業者	・コミュニティバスの利用者で、新規のお客様が少しずつ増えてきているので、引き続きダイヤや利便性のいい部分について、今後計画されているデマンドバスに落とし込んでいただきたい。
行政	・今年度から地域内観光フィーダー系統補助金が新たに創設された。従来の地域内フィーダー系統補助金は地域の足を守っていくという趣旨だが、地域内観光フィーダー系統補助金は地域住民の生活交通に加え、観光需要に該当する２次交通として位置付け、補助するもの。立山町は県内他自治体と比べ、当補助金の要件を満たしやすいので、将来的に活用可能であることを視野に入れていただきたい。 ・観光２次交通の施策として、E-bike や電動キックボードとあるが、どの辺りで利用されているのか、またこれらを利用しないお年寄りの方などが観光２次交通を必要とする場合、どのような手段が適当なのかについて、現状認識した上で今後検討されていく方がいいのではないかと思う。 ・ふるさと納税者に対し、公共交通と絡めた取組は行っているか。立山町と関わりたいが遠方にいて難しいといった方に、うまく関わっていただけるような仕組みがあるとよい。

行政	・７月４日にバスの営業所見学会を実施したところ、県内外から 17 名が参加された。このようなイベントが採用に繋がればよいと思う。今年度冬にも実施する予定にしている。 ・地鉄の休憩室の改修について、見学させていただいたが、最新の居心地のいい休憩スペースとなっており、このような取組も地道なことではあるが、定着に繋がるのではないかと思う。 ・今年度、地域交通戦略マイルート普及推進事業を実施する。これは、県内全市町村を巡回してイベントを実施し、地域交通戦略の考え方や、マイルート、ロケーションシステムといったアプリの使い方の周知等を行うもの。立山町で周知したいことがあれば、この機会に一緒に取り組むこともできるので、何か協力できることがあれば、していきたい。